

| | | | |
|---------|-----------------------------------|---------|--------------------|
| 科目名 | 在宅医療概論 | | |
| 科目番号 | A-1 | 開設大学名 | 長崎国際大学 |
| 開講場所 | 長崎国際大学 | 教養・専門の別 | 教養 |
| | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 令和5年4月10日(月)～ ～令和5年7月28日(金) | 曜日 | 月曜日 |
| | | 時限 | 4時限目 |
| 開講時間 | 14時 40分～16時 10分 (90分) 「毎週 月曜日」 | 授業定員 | 240 人 |
| | | 履修年次 | 1年次以上 |
| 実習費等 | なし | 選考方法 | 書類選考 |
| その他特記事項 | 開講日の講義及び担当教員は、事情により変更することがある。 | 試験・評価方法 | 出席・レポート・課題等により総合評価 |

| 開講日 | 講義名 | 担当教員 |
|---------|------------------------------|--------------------------------|
| ① 4月10日 | 在宅医療に係わる多くの専門職と専門職連携の重要性 | 大磯 茂 (長崎国際大学薬学部) |
| ② 4月17日 | 在宅医療におけるケアマネージャーの役割 | 鷲峯 志保 (まつお内科医院) |
| ③ 4月24日 | 在宅医療における医師の役割 | 太田 一寿 (長崎国際大学薬学部) |
| ④ 5月1日 | 在宅医療における看護師の役割 | 大町 いづみ (長崎国際大学薬学部) |
| ⑤ 5月8日 | 在宅医療における訪問看護師の役割 | 森 亜砂子 (訪問看護ステーションくりや) |
| ⑥ 5月15日 | 在宅医療における薬剤師の役割 | 七嶋 和孝 (ななしま薬局) |
| ⑦ 5月22日 | 在宅医療における薬局薬剤師の役割 | 中村 三喜雄 (てんじん薬局) |
| ⑧ 5月29日 | 在宅医療における歯科医師の役割 | 須田 晶 (佐世保市歯科医師会) |
| ⑨ 6月5日 | 在宅医療における歯科衛生士の役割 | 岩下 美穂 (アキラデンタルオフィス) |
| ⑩ 6月12日 | 在宅医療における管理栄養士の役割 | 林 俊介 (長崎国際大学健康管理学部) |
| ⑪ 6月19日 | 在宅医療における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割 | 井手 伸二 (長崎リハビリテーション病院) |
| ⑫ 6月26日 | 在宅医療における地域連携室の役割 | 末竹 加代子 (佐世保共済病院) |
| ⑬ 7月3日 | 在宅医療における地域包括支援センターの役割 | 江崎 勝明 (佐世保市早岐地域包括支援センター) |
| ⑭ 7月10日 | 在宅医療における行政のサポート | 担当者未定 (長崎県福祉保健部) |
| ⑮ 7月24日 | 在宅医療における薬の知識 | 大久保 伸哉・平 雄文 (長崎国際大学薬学部・桜町調剤薬局) |

| | |
|--|-----------------------------|
| 連絡先 | 長崎国際大学 教務課 TEL 0956-39-2020 |
| <p>(科目内容) 本講座は、長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、自治体、保健・医療・福祉系の職能団体とNPO法人が連携する「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」が開講してきた科目である。講座の目的は、将来、在宅がん医療や緩和ケアを多職種協働で実践できる専門職の人材育成である。「在宅医療概論」では、在宅医療に必要な基礎知識を学ぶとともに、連携する専門職種の役割と情報の共有について理解を深めるため各分野の専門家を招いたオムニバス形式の講義を行う。</p> | |

学生の感想・
教員のコメント等

[受講生の感想]
 高齢化社会が進むとこれからの日本社会がどうなっていくのかということや、医療を考える際に医療従事者がどれだけ重要になってくるかを学ぶことができました。在宅医療のシステムが上手く動くためには多くの関係者の努力と協力が必要不可欠だと思いました。(薬学生)
 在宅医療における多職種との連携がいかに大切かが理解できました。(健康栄養学科)
 在宅医療の必要性について改めて知ることができ、また、新しい知識も得ることができました。(社会福祉学生)
 日本の高齢化が進む中で医療のあり方について知れた。観光も医療に携われることを知った。私も少しでも多く携わり高齢者の人の気分転換などになればいいなと思った。(国際観光学科)

